

No.	22-1005	
研究課題名	集学的がん免疫療法とリキッドバイオプシーによる次世代がん医療の開発研究	
研究代表者	遠山 育夫（滋賀医科大学・理事）	
研究組織	受入教員	村上 善則（東京大学医科学研究所・教授）
	分担者	安井 寛（附属病院血液・腫瘍内科・非常勤講師）
	分担者	湯地 晃一郎（附属病院血液・腫瘍内科・非常勤講師）
	分担者	二見 宗孔（革新的診断技術応用基盤社会連携研究部門・特任助教）
	分担者	醍醐 弥太郎（滋賀医科大学・医学部・教授）
	分担者	高野 淳（人癌病因遺伝子分野・特任講師）
	分担者	寺本 晃治（滋賀医科大学・医学部・特任講師）
	分担者	住本 秀敏（滋賀医科大学・医学部・特任講師）
	分担者	Tsevegjav Bayarbat（滋賀医科大学・医学部・客員研究員）
	分担者	Hoa Thi Nguyen（滋賀医科大学・医学部・客員研究員）
	分担者	Regina Wachuka Mbugua（滋賀医科大学・医学部・大学院生）

申請者（研究代表者）

遠山 育夫

東京大学医科学研究所国際共同利用・共同研究拠点事業
共同研究報告書（年次終了・研究完了）【国内】

共同研究報告（年次終了）

複数の難治固形がんで高頻度・高レベルに発現する oncoantigen を同定してその診断・治療応用に向けた機能解析を実施した。また複数のがん関連分子や免疫関連分子等につき、発がん機構に関する詳細な機能解析やがんの先制医療の開発に向けたがんバイオマーカーとしての検証、がんワクチン療法の適応がん種拡大や複合免疫療法の開発に向けた検討を行った。これらの研究成果の一部については、第 81 回日本癌学会総会（5 題）、第 20 回日本臨床腫瘍学会学術集会（6 題）、第 67 回日本人類遺伝学会大会（5 題）等で発表を行い、国際学術誌に論文発表した（1 報）。